

主催：Summer Arts Japan 実行委員会、共催：東京藝術大学、
協力：(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

「Summer Arts Japan 2016 都市のレガシーはTOKYOへ」

～多くの参加者が集まり、2020へ向けて文化イベントが開催される～

Summer Arts Japan 2016(主催: Summer Arts Japan 実行委員会、共催: 東京藝術大学、協力: (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)は、8月7日(日)に芸術文化を最先端テクノロジーと融合させ、これまでにない新しいエンターテインメントコンサートを開催いたしました。

史上もっともイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会を目指している東京2020オリンピック・パラリンピック大会。スポーツはもとより、文化の祭典として、様々な文化的プログラムが期待されています。

「Summer Arts Japan」は、このプログラムを先駆けるもので、音楽をはじめとする芸術文化を最先端テクノロジーと融合させ、これまでにない新しいエンターテインメントとして世界に発信していく画期的な企画となりました。

< Summer Arts Japan 2016「都市のレガシーはTOKYOへ」 >

- ・日 時：2016年8月7日(日) 18:00～
- ・会 場：東京藝術大学奏楽堂
- ・主 催：サマーアーツジャパン実行委員会
- ・協 力：(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、
音楽大学フェスティバル・オーケストラ、全国芸術系大学コンソーシアム
- ・後 援：(公財)日本オリンピック委員会、文化庁、スポーツ庁、東京都、台東区
台東区教育委員会、順天堂大学
- ・連 携：札幌市、長野市
- ・企画協力：東京藝術大学COI拠点



スポーツと芸術と科学の融合からの未来融合を見据えた
実験的ステージ、『Sports Arts Science』(音舞の調べ)

オリンピック開催経験都市と同時に演奏する「三都市連携プログラム」など、

多くの参加者が集まり、2020へ向けて芸術文化イベントとしておおいに盛り上がりました。

『2020に羽ばたく若き演奏家たち』

■東京オリンピックファンファーレ(音楽大学フェスティバル・オーケストラ)

■オープニングアクト

金澤翔子(書)

■若手ソリストの演目

サン=サーンス「序奏とロンドカプリッチオーソ」(ヴァイオリン:城戸かれん)

グノー オペラ「ロメオとジュリエット」より“私は夢に生きたい!”(ソプラノ:光岡暁恵)

ブッチェリ オペラ「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”(テノール:城 宏憲)

ゴメス「序曲」(藝大フィルハーモニア)



『Sports Arts Science』

特別出演

マーチ『明日へ』(台東区上野小学校児童)



Sports Arts Science「音舞の調べ」

スポーツと芸術と科学の融合からの未来融合を見据えた実験的ステージ。アスリートの動きがAI技術により美しい音となる。コシノジュンコの衣装を纏いステージ上で舞となる。将来の可能性に挑戦した総合芸術です。

邦楽囃子：東京大学音楽学部邦楽科（小鼓：盧慶順、大鼓：大原信正、笛：西川浩平）

順天堂大学体操競技部：豊田時生、松本啓吾、中村紗基、八木千夏

衣装：コシノジュンコ

司会：パトリック・ハーラン、井田寛子

実行委員長：松下功



Finale

「三都市連携プログラム」東京、札幌、長野をがひとつに！

演奏：藝大フィルハーモニア、音楽大学フェスティバル・オーケストラ

指揮：田中祐子



＜本件に関するお問合せ先＞
サマーアーツジャパン実行委員会
担当：三好
TEL:03-6276-1177 FAX:03-3376-3371